



こんにちは。トリプルアイズの白石です。

いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「AI 導入も AI 人材育成も！知って得する 補助金・助成金活用」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、

「大学将棋の頂点、トリプルアイズ杯優勝は関西のあの大学！」

「トリプルアイズフォーラム開催報告」

についてご紹介いたします。

そして連載「アルコールチェック対策ウェビナーQ&A をご紹介」では、随時開催しているアルコールチェックに関する法令対策ウェビナーの質疑応答でいただいた内容を抜粋して紹介します。

IT 批評では、

9月のレポート記事

「生成 AI でビジネスが激変する 一週刊ダイヤモンド編集委員が語る ChatGPT との付き合い方」

9月の編集長レビュー「DX（デジタルトランスフォーメーション）の本当の未来」

の2本立てでご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----< 目次 >-----

1. AI 導入も AI 人材育成も！知って得する 補助金・助成金活用
2. トリプルニュース
3. アルコールチェック対策ウェビナーQ&A をご紹介
4. IT 批評
5. 編集後記

-
1. AI 導入も AI 人材育成も！知って得する 補助金・助成金活用

突然ですが、皆さんの会社では**補助金・助成金**を活用していますか？

国が生産性向上のためのITツール活用やリスクリングを推進しているといった背景を理由に、現在では**様々な種類の補助金や助成金がある**ようです。地方自治体独自で企業支援をしている例も多いですね。

トリプルアイズのサービスの中にも、**AI導入やAI人材育成に活用できる補助金・助成金**の対象となるものがありますので、本日はそちらを紹介します。

■アルコール検知AIクラウドシステム「AIZE Breath」

AI顔認証での本人確認とアルコールチェックを一連の動作で行い、記録をクラウドに自動保存するシステムです。2023年12月から施行される白ナンバーアルコール検知器使用義務化に対応しています。

AIZE Breathは、**IT導入補助金**または**東京都の中小企業デジタルツール導入促進支援事業の助成金**（※東京都の中小企業様）が利用できます。

助成額シミュレーションの一例をあげると下記ようになります。

AIZE Breathハンディタイプ（ミタチ産業製アルコールポーター）20台導入の場合

※端末代・初期費用・基本料金・月額費用・センサーメンテナンス代・日報機能(オプション)全て含む
※IT導入補助金、デジタルツール導入助成金、いずれの適用でも50%OFFとなります。
※IT導入補助金、デジタルツール導入助成金、いずれの補助金にも上限額がございます。



■AI人材育成プログラム「AT20」および「AIエンジニア養成ブートキャンプ」

AT20は、通信教育方式で、毎週の課題をこなしながら、実務で通用するAIエンジニアリングの技能を身に付けるAI教育プログラムです。また、「AIエンジニア養成ブートキャンプ」は、たったの5日間という短期集中講義で、機械学習の基礎知識からAI実装スキルまでを習得する、社内でAI人材を育成するプログラムです。

こちらの2つのAI人材育成プログラムには、**厚生労働省の人材開発支援助成金**が利用できます。

助成額シミュレーションの一例をあげると下記ようになります。

AT20 AIエンジニア初級コース1名受講 事業展開等リスクリング支援コース適用の場合

事業展開等リスクリング支援コース：新規事業の立ち上げなどの事業展開に伴い、事業主が雇用する労働者に対して新たな分野で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合等に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成するもの。



補助金・助成金活用には諸条件があり、企業規模などによってその率も変動するとはいえ、もし**対象となる場合は活用した方が断然お得**ですね。

トリプルアイズでは、当社のサービスに関する補助金・助成金の**申請手続き支援**もおこなっております。ぜひお気軽にご相談ください。

AIZE Breath <https://aizebreath.jp/>

AI ビジネス実践塾 AT20 <https://at20.jp/>

AI エンジニア養成ブートキャンプ <https://www.3-ize.jp/aibootcamp/>

トリプルアイズの**補助金・助成金ページ** https://www.3-ize.jp/hojo_josei/ 近日公開！

2. トリプルニュース

「大学将棋の頂点、トリプルアイズ杯優勝は関西のあの大学！」



本メルマガでも紹介させていただいた、**大学将棋の日本一**を決める第19回全国大学対抗将棋大会・トリプルアイズ杯。9月13日（水）～9月15日（金）の3日間、さいたま商工会議所会館で行われ、激戦を繰り広げました。

本大会は5人制の団体競技で、予選を勝ち抜いた代表校10校による総当たりリーグ方式で行われました。立命館大学と早稲田大学は互いに8勝0敗と一歩も譲らず、ついには優勝を賭けた直接対決へ！

激戦の末、優勝を手にしたのは、**立命館大学**でした。大会結果は以下の通りです。

トリプルアイズ杯争奪 第19回全国大学対抗将棋大会成績

優勝：立命館大学

準優勝：早稲田大学

第3位：金沢大学

出場校（順不同）：立命館大学、早稲田大学、東京大学、京都大学、金沢大学、山形大学、静岡大学、山口大学、九州大学、北海道大学

全日本学生将棋連盟委員長・北村泰暉氏の講評

「初日からスコア3-2または2-3と接戦の場面が多く、10大学中9大学が最終局を終えるまで順位が確定しないくらいの激戦ぶりでした。最終局までどのチームもモチベーション高く臨んだ勝負、終盤まで目が離せない大会だったと思います。」

アマチュア強豪・遠藤正樹氏のコメント

「とてもレベルが高い大会でした。従来、関東勢・関西勢が強い印象があったのですが、地方勢がかなり力をつけており拮抗していると感じました。トリプルアイズ杯が、学生たちが全国大会を目指して力をつけるきっかけの大会になっているのだと思います。」

レベルが高く、勝負の行方から目が離せなかったトリプルアイズ杯。

詳細はこちら：<https://www.3-ize.jp/information/3798/>

「トリプルアイズフォーラム開催報告」



9月8日（金）第2回トリプルアイズフォーラムを開催いたしました。

本フォーラムは、当社のサービスをご利用いただいているお客様、お取引様、連携企業様をお招きし、**当社の事業状況、最新のサービス情報をお伝えすることで当社への理解を深めていただく**と同時に、**参加者どうしで議論を交わす場、情報交換をする場**として設けさせていただいたものです。当日は38社53名の方がご参加されました。

週刊ダイヤモンド編集委員の吉岡綾乃氏より「ChatGPT・生成AIでビジネスが激変する」というテーマでの特別講演をはじめ、当社の子会社である株式会社ゼロフィールド平嶋遥介氏によるゼロフィールドの会社概要や事業の強みについてのスピーチが行われました。

また当社代表・山田より「今期の総括と16期に向けて」、取締役・桐原より「生成系AIの台頭により起きうる変化や今後当社が目指す市場について」、それぞれスピーチがあり、執行役員からは各部門のサービスについて紹介させていただきました。

ご参加いただいた皆様、当日はお足元の悪い中お越しいただき、誠にありがとうございました。

詳細はこちら：<https://www.3-ize.jp/information/3744/>

3. アルコールチェック対策ウェビナーQ&Aをご紹介します

当社ではアルコールチェックに関する法令対策ウェビナーを随時開催しています。

こちらでは質疑応答でいただいた内容を抜粋して紹介します。



Q：社用車を通勤で使用する場合、直行直帰と同様にアルコールチェックが必要ですか？

A：必要ありません。アルコールチェックは運転の前後とはなっているものの、通勤時の義務はないため、社用車での通勤時は、自宅を出る時ではなく、**会社に到着し業務としての運転をする前に**アルコールチェックをしましょう。

白ナンバーアルコールチェックのウェビナー情報はこちら：

https://www.3-ize.jp/case/detail_20230612.html

4. 【IT 批評新着記事】 9月のレポート記事

生成 AI でビジネスが激変する一週刊ダイヤモンド編集委員が語る ChatGPT との付き合い方



ニュースでも触れたトリプルアイズフォーラムでご登壇いただいた、週刊ダイヤモンド編集委員・吉岡綾乃さんの講演記録です。

生成 AI の爆発的な台頭により、あらゆるビジネスにおいて AI 化が進行し、**生成 AI は確実に AI と人間との付き合い方を次の段階へ進めました。**

この 25 年間、雑誌メディアから Web メディアに活躍の場を移しつつ、IT の社会への浸透取材してきた吉岡氏。**生成 AI はビジネスをどう変えていくのか、そして私たちはどう付き合うべきか。**

来場者からご好評いただいた講演の内容を再構成いたしました。ぜひご覧ください。<https://it-hiyou.com/>

9月の編集長レビュー

DX（デジタルトランスフォーメーション）の本当の未来



「生成 AI もまたただのツールではある。現在もそういう議論が多い。ツールではあっても、しかし、それは確実にテクノロジーであり、私たちの仕事を変え、生活を変え、社会、文化を変え、最後には存在そのものと同一化する。テクノロジーなどというと、それこそデジタルなものを思い浮かべがちだが、人類史でいえば言語も火熾しもみなテクノロジーだ。人間はテクノロジーと共振しながら進化してきた。」複雑に進化するテクノロジーと人間の関係について考察しています。ご覧ください。<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

トリプルニュースで紹介させていただいた「トリプルアイズ杯」。将棋に青春をかける大学生たちの熱い夏が終わりました。

10月に入ると、今度は秋の職団戦が行われます！当社も出場します。春の大会では最上位クラスのSクラスで優勝を果たし、日本一となったトリプルアイズ将棋部。今大会でも優勝を勝ち取ってくれることを期待しています。皆様もぜひ、勝負の行方を一緒に見守ってください。大会は10月7日（土）開催です。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
